

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 64 号

病院に勤務する看護師の組織阻害行動と情緒的コミットメント,自尊感情,肯定的気分との関連

(Relation between organizational retaliatory behavior and emotional commitment, self-esteem, positive mood of nurses working in hospitals)

上野 瑞子 (うえの みずこ)

博士 (スポーツ健康科学)

論文審査結果の要旨

【研究目的の特徴・独創性・論理性】

医療組織において重要な役割を担っている看護師を対象とし、かつ組織阻害行動を鍵概念として用いた先行研究は皆無であり、本研究はきわめて独創的であるといえる。仮説検証型の研究として研究デザインが適切に設定されており、結果と考察から結論までの論理的展開も問題はないと判断できる。

【研究方法の妥当性】

研究の手続きについても適切であると判断できる。また、本研究では、3つの仮説を設定し、研究の目的に則って検証している。質問紙調査に際しては、インフォームドコンセントを得たうえで、約 1,000 名のサンプル数を確保して分析を行っている。統計処理においては、看護師組織阻害行動尺度の構成概念妥当性と因果関係モデルの検討を多角的に行うなど、適切かつ妥当な方法で統計分析が行われている。

【結果・知見の新しさ】

因子分析の結果の結果である一次因子 (3 因子) と二次因子 (3 因子) を抽出したうえで、二次因子モデルのデータへの適合性を構造方程式モデリングによって検討した点は、本研究によってもたらされた新しい知見であり、新奇性が認められる。

【考察および結論の妥当性】

看護師組織阻害行動尺度の妥当性と信頼性を得ることができ、本研究の成果が今後の看護管理分野での学術的貢献が期待される。国内における先行研究のサーベイを行ったうえでの本研究の限界・課題についても論及されており、考察および結論の内容については妥当であると判断できる。

【研究の当該分野における位置づけ】

本研究は、医療 (看護) 組織における職務ストレスが深刻な中、看護師の人的資源開発に向けた現状把握と具体的な提案を試みた研究であり、スポーツチームの運営、およびチーム力の向上に応用できる内容でもある。その点でスポーツ健康科学分野に位置づけられる研究といえる。ただし、より色濃くスポーツ健康科学との学術的な親

和性を際立たせるための文章表現の工夫が必要である。

【質疑に対する応答の適切性】

質問に対する応答は、研究結果と先行研究による裏付けを明示しながらできていた。本研究の背景から結論に至るまで、主査と副査からの論文の内容に関する質問に対して、誠実かつ適切に応答していた。

【論文審査の結果】

論文全体の完成度や質疑応答での受け答えの適切さ、そして、本研究が上野氏の医療（看護）組織の環境改善に向けての真摯な姿勢を反映した内容である点を評価し、博士論文審査は合格と判定する。

研究の内容においても、組織阻害行動という先行研究でもみられない概念に着目し、尺度の開発から実際の介入調査まで実施して、その結果に基づいて問題解決の方向性を提示した有意義な研究である。

適切な統計分析方法で仮説が検証されており、先行研究との比較を通じた妥当な結論も導かれている。よって、博士（スポーツ健康科学）の学位を授与する水準に相応しいと判断される。